

テレビ電話

テレビ電話とは

- 法人向けひかり電話サービスに接続したIPテレビ電話端末(例:「フレッツフォンVP1000/VP1500/VP3000」(いずれも情報機器)等)とひかり電話サービス契約者同士でテレビ電話が利用できます。

★VP1000/VP1500は2013年4月、VP3000は2013年9月をもって販売を終了しています。

- フレッツ 光ネクスト ビジネスタイプ(FTTHアクセスサービス)、ビジネスイーサ ワイドの場合、テレビクラス(アナログ放送)品質相当に加え、ハイビジョンテレビクラス相当での臨場感あふれるテレビ電話が利用できます。

★テレビクラス(アナログ放送)相当以上の映像をご利用いただくためには、
 ・IPテレビ電話端末(例:「フレッツフォンVP1000/VP1500/VP3000」等)もしくはパソコンで法人向けひかり電話サービスをご利用できるソフトウェアが必要です。
 ・発信者と着信者の双方がフレッツ 光ネクストまたはフレッツ 光ライト、一部の「コラボ光」、ビジネスイーサ ワイドのいずれかとひかり電話サービスをご契約のうえ、各サービスに対応した情報機器等をご利用いただく必要があります(NTT西日本/NTT東日本間の接続も可能です)。

- 音声と映像の通信だけでなく、帯域確保型データ通信を組み合わせた利用が可能です。

★音声・映像と帯域確保型データ通信を組み合わせて利用するためには、それに対応した端末が必要です。

顔を見ながら電話できます

対応機器同士で
利用可能



通話料金

ひかり電話サービスへのテレビ電話通話料

16.5円(税込)/3分

テレビクラス(アナログ放送)相当を超える場合
(ご利用帯域が2.6Mbpsを超える場合)

110円(税込)/3分

- テレビ電話を他のサービスと組み合わせてご利用の場合、利用できないもしくは一部機能が制約される場合があります。
- テレビ電話のご利用にあたっては、対応した情報機器等をご利用いただく必要があります。
- テレビ電話の通話料はひかり電話サービスの音声通話料と異なります。

ご利用上の注意事項

- テレビクラス(アナログ放送)相当のテレビ電話をご利用いただくためには以下の条件を満たす必要があります。
 - ・発信者と着信者の双方がフレッツ 光ネクストまたはフレッツ 光ライト、一部の「コラボ光」、ビジネスイーサ ワイドの契約者であること
 - ・IPテレビ電話端末フレッツフォンVP1000/VP1500/VP3000等を利用(なお、ファームウェアのバージョンは、フレッツフォンVP1000は3.000以上、フレッツフォンVP1500は2.000以上である必要があります。ファームウェアのバージョンアップにはインターネット接続が必要です)。
- ハイビジョンテレビクラス相当のテレビ電話は、発信者と着信者の双方がフレッツ 光ネクスト ビジネスタイプ、ビジネスイーサ ワイドで提供するひかり電話オフィスA(エース)のみでご利用いただけます。
- IPテレビ電話端末フレッツフォンVP1000/VP1500/VP3000からの発信は、すべてテレビ電話(映像+音声)での発信となります。ただし、接続先端末が映像通信機能を持たない場合は、音声のみの接続となります。その場合は、テレビ電話通話料ではなく、音声通話料が適用されます。
- IPテレビ電話端末フレッツフォンVP1000/VP1500/VP3000には、通信開始時の映像ON/OFF選択機能がありますが、映像をOFFにされていてもテレビ電話通信時にはテレビ電話通話料が適用されます。
- フレッツ 光ネクスト マンションタイプでVDSL方式をご利用の場合、集合型VDSL装置から宅内VDSL装置間の設備状況により通信帯域が確保できずテレビ電話が提供できない場合があります。
- フリーアクセス・ひかりワイド(オプション)へのテレビ電話による着信はできません。情報機器の自動再接続機能により、音声での接続となります。

【映像通信可能な接続形態】

映像通信が可能となる通信相手は、NTT西日本・NTT東日本の「ひかり電話サービス契約者」です。

発信者 \ 着信者	NTT西日本・NTT東日本のひかり電話サービス【フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト、一部の「コラボ光」、ビジネスイーサ ワイド契約】※1	O50IP電話のテレビ電話サービスや他の移動体事業者のテレビ電話サービス
NTT西日本・NTT東日本のひかり電話サービス【フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト、一部の「コラボ光」、ビジネスイーサ ワイド契約】※1	○	×※2
O50IP電話のテレビ電話サービスや他の移動体事業者のテレビ電話サービス	×※3	-

○：映像通信可能 ×：映像通信不可

※1 NTT西日本・NTT東日本エリアにおいて、フレッツ 光ネクスト/フレッツ 光ライト/一部の「コラボ光」/ビジネスイーサ ワイドでひかり電話サービスの利用者を指します。

※2 映像接続不可の場合は、基本的には、標準音質の音声にて接続します。

※3 発信者側の接続条件によります。

【1XY番号への発信】

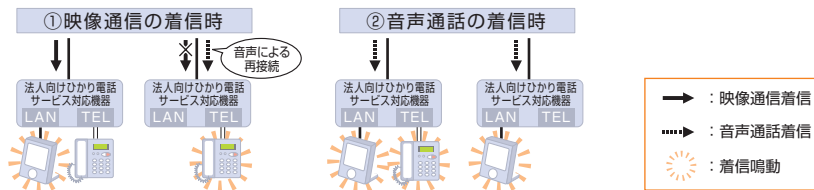
・110、119、118等の1XY番号(184、186を除く)への発信時は、音声通話となります。

「法人向けひかり電話サービス」とは、「ひかり電話オフィスタイプ」「ひかり電話オフィスA(エース)」「いずれもIP電話サービス」を指します。

【着信鳴動】

- ①映像通信の着信時
映像通信端末がある場合、映像通信端末のみ鳴動します(映像通信端末がない場合は、鳴動せず、音声による接続を待ちます)。
- ②音声通話の着信時
映像通信端末の有無にかかわらず、応答可能な全端末が鳴動します。

【着信時の鳴動】



他のオプションサービス等と合わせてご利用いただく場合の留意事項

■ボイスワープ ■一括転送機能

- ・テレビ電話の転送可能な条件は以下のとおりです。
 - ①転送先が、テレビ電話接続可能であること。
(転送先が契約条件や端末条件によりテレビ電話接続不可の場合は、映像転送できません。標準音質の音声通話にて再接続された場合は転送できません。)
 - ②発信者が、「ひかり電話」「ひかり電話オフィスタ입」「ひかり電話オフィスA(エース)」(いずれもIP電話サービス)で映像発信した場合であること。
(発信者がFOMA®の場合は、映像転送できません。標準音質の音声通話にて再接続された場合は転送できません。)
 - ③転送条件が、無条件転送もしくは話中時転送であること。
(無応答時転送の場合は、映像転送の可否は、転送元端末に依存します。発信者と転送元端末の接続において端末能力の不一致が生じ、発側端末が標準音質の音声にて自動再接続を行った場合には、音声で転送されます。)

発信者	転送元	転送先	転送元から転送先への転送動作
ひかり電話サービス※1	法人向けひかり電話サービス	ひかり電話サービス	映像転送※2※3
		加入電話	音声にて接続(音声転送)

- ※1 ひかり電話オフィスタ입およびひかり電話オフィスA(エース)を含みます。
- ※2 無応答時転送の場合、映像転送可否は、転送元端末に依存します(発信者と転送元端末にて自動再接続による音声再接続を行った場合、音声で転送されます)。
- ※3 発信者がひかり電話・ひかり電話オフィスタ입・ひかり電話オフィスA(エース)の映像転送の品質は、転送条件が無応答時転送以外は、発信者と転送先で通信可能な最も高い品質での映像転送を行います(これにより、テレビクラス(アナログ放送)相当でのテレビ電話発信の映像転送は、転送先がテレビクラス(アナログ放送)相当対応であれば、テレビクラス(アナログ放送)相当で転送されます)。また、無応答時転送の場合は、映像転送の品質は、転送元と転送先で通信可能な最も高い品質での映像転送を行います。

■ナンバーディスプレイ

- ・テレビ電話接続中でもナンバーディスプレイによる電話番号の表示を見ることができます。
- ・ナンバーディスプレイに対応していない電話機は、法人向けひかり電話サービス対応機器の該当ポートのナンバーディスプレイ設定*を「使用しない」に変更してください。
※法人向けひかり電話サービス対応機器の各ポートのナンバーディスプレイ設定(初期設定)は「使用する」になっています。
★万一、ナンバーディスプレイに対応していない電話機を接続し、法人向けひかり電話サービス対応機器の設定変更をしていない場合、短い断続した呼出音の後、通常の呼出音が聞こえますので、通常の呼出音に変わってから電話に出るようにしてください。通常の呼出音になるまで5~6秒かかります。
★法人向けひかり電話サービス対応機器の設定方法詳細につきましては、各端末同梱の取扱説明書をご参照ください。

■ナンバーリクエスト

- ・標準音質の音声通話と同様に、受信を拒否します。
ただし、発信がテレビクラス(アナログ放送)相当のテレビ電話の場合、網側から発信側端末に対して「発ID通知要請」信号を送信し、発信側端末が標準音質の音声通話で自動的に再発信したときのみガイダンス応答します(ガイダンス応答した通話は、発信者に課金されます)。
・標準音質の音声にて自動的に再発信しない場合、ガイダンス応答しません。

■迷惑電話おこわりサービス

- ・「迷惑電話リスト」への登録は、標準音質の音声通話と同様に、迷惑電話を受けた直後に登録操作を行うことにより、同じ電話番号からの着信を拒否します。
- ・発信がテレビ電話の場合、網側から発信側端末に対して「発ID通知要請」信号を送信し、発信側端末が標準音質の音声通話で自動的に再発信したときのみガイダンス応答します(ガイダンス応答した通話は、発信者に課金されます)。
・標準音質の音声にて自動的に再発信しない場合、ガイダンス応答しません。

■複数チャネル

- ・複数チャネルでご利用の場合でも、テレビクラス(アナログ放送)相当、ハイビジョンテレビクラス相当のテレビ電話をご利用時、ご契約のチャネル数分の同時利用が出来ない場合があります。
各アクセスライン毎の最大同時通話(チャネル数)は以下の表のとおりです。

！ひかり電話オフィスタ입でご契約のお客さま

	テレビクラス(アナログ放送相当)	ハイビジョンテレビクラス相当
フレッツ 光ネクストファミリー各タイプ / マンション各タイプ	3	-
フレッツ 光ネクストビジネスタイプ	8	1

！ひかり電話オフィスA(エース)でご契約のお客さま

	テレビクラス(アナログ放送相当)	ハイビジョンテレビクラス相当
フレッツ 光ネクストファミリー各タイプ / マンション各タイプ	3	-
フレッツ 光ネクストビジネスタイプ	7	1
ビジネスイーサワイド(帯域確保型) ビジネスイーサワイドバーストプラン(一部帯域確保型)	96	15

- ★ひかり電話対応機器によって、接続可能なテレビ電話の最大数が異なります。
- ★ビジネスイーサワイドは、ご利用の品目等により、最大同時通話(チャネル数)が異なります。

■追加番号

- ・標準音質の音声通話と同様に、複数の電話番号(契約電話番号+追加番号)で利用できます。

■着信お知らせメール

- ・標準音質の音声通話と同様に、着信情報を指定のメールアドレスに送信します。
- ・発信側端末から標準音質の音声による自動再接続を行った場合の着信についてもお知らせメール対象となります。なお、その際のお知らせメールは1通です。

■FAXお知らせメール

- ・FAXお知らせメールをご利用中(開始中)に、テレビ電話の着信があった場合、音声のみで接続され、発信者には「ビー」というFAX受信音が聞こえます。また、FAXお知らせメールご利用者には、「受信結果」に「受信エラー」と表示されたメールが送信されます。

■フリーアクセス・ひかりワイド

- ・テレビ電話にて、着信課金番号(「0800」「0120」から始まる番号)への着信はできません。

「法人向けひかり電話サービス」とは、「ひかり電話オフィスタ입」「ひかり電話オフィスA(エース)」(いずれもIP電話サービス)を指します。